

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-141	22-093	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Screening and brief intervention for alcohol use disorder risk in three middle-income countries 中所得国におけるアルコール使用障害リスクのスクリーニングおよび簡易介入		
執筆者		
Paschall MJ, Ringwalt CL, Fisher DA, Grube JW, Achoki T, Miller TR.		
掲載誌		
BMC Public Health. 2022 Oct 26;22(1):1967. doi: 10.1186/s12889-022-14358-4.		
キーワード		PMID
アルコール使用スクリーニング、簡易介入、アルコール使用障害、中所得国		36289538
要旨		
<p>目的: 中所得国 (ブラジル、中国、南アフリカ)における成人飲酒者のアルコール使用障害 (AUD)のスクリーニング・簡易介入 (SBI) の普及率について調査した。</p>		
<p>方法: 2018年に各国2都市の成人を対象とし、過去1年間のアルコール使用、AUDリスクの評価 (CAGE\geq1でリスク有)、過去1年間の医療専門家との会話、医療専門家によるアルコール使用スクリーニング、医療専門家からの飲酒に関するアドバイスの有無などを調査した。SBIの評価については、飲酒者が過去1年の間に飲酒量を医療者から尋ねられたことがある場合をスクリーニング有、医療専門家と相談したことのある場合を簡易介入有とした。ロジスティック回帰分析を用い、AUDリスクとSBIとの関連を検討した。</p>		
<p>結果: AUDリスクがある飲酒者 (CAGE\geq1)の飲酒量スクリーニング率は、ブラジル14.3%、中国12.6%、南アフリカ6.7%、簡易介入の実施率はブラジル5.6%、中国8.2%、南アフリカ4.6%であった。一方、過去1年間に医療専門家と話をした飲酒者におけるSBI実施率は高かった。中国および南アフリカでは、スクリーニング・簡易介入の両方と、ブラジルでは簡易介入とのみAUDリスクと正に関連した。</p>		
<p>結論: ブラジル、中国、南アフリカでは、AUDリスクの高い飲酒者におけるSBI実施率は低かった。</p>		